

西建協だより

341号

2022年12月



HPアドレス

新型コロナウイルス禍は終息見せず、感染拡大縮小の波が続いています。そのような状況下ですが、通常の日常を取り戻すように、協会事業や各種行事も注意しながらとなりましたが、行うことが出来ませんでした。今年最後の本号発行にあたり、地元西多摩から国や都に選出された議員の皆様にも、紙面にて今年一年を振り返ってもらいたいことをお願いしました。

日本経済の再生と、西多摩地域の発展のために

自由民主党幹事長代理
衆議院議員 井上 信治

榎森厚志理事長をはじめ西多摩建設業協会の皆さまが、平素より地域の発展や災害対策に多大なる貢献をされていることに敬意を表します。総会のほか、各市町村で開催して頂いている私の「国政を語る会」に多くの方にご来場頂くなど、今年も大変お世話になりました。

本年はコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵略等が発生し、物価高騰や金融市場の不安定化など、経済の先行きに不透明感が高まる1年でした。建設業においても、資材高騰に伴う利益率の低下等が問題となっています。このような状況を受け、国においては事業規模72兆円の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定しました。消費者物価指数の上昇を1.2%以上抑制し、実質GDPを4.6%押し上げる

経済効果を見込んでいます。公共事業分野においても、物価高の適切な価格転嫁が進むよう促すと共に、国土強靱化等の公共事業を含む「国民の安全・安心の確保」のための事業に10.6兆円の財政支出を行い、必要な事業量を確保してまいります。厳しい環境下ではありますが、

景気回復の好循環を実現するため、また建設業の魅力を高めて担い手不足等を解消するためにも、賃上げや働き方改革、DXやGXにも取り組んで頂くようお願い申し上げます。

私たちの西多摩においても、社会資本整備を着実に進めなくてはなりません。青梅インターチェンジ周辺の物流拠点整備は来年の都市計画決定、事業認可を目指すところまで漕ぎ着け、多摩都市モノレールの上北台〜箱根ヶ崎間の延伸についてもついに素案をまとめることができました。青梅駅前や福生駅西口の市街地再開発事業、羽村駅西口や武蔵引田駅北口の土地区画整理事業などの市街地整備も、着実に進めていかなくてはなりません。私も、政府に対し計画策定や予算確保などを働きかけ、実現してまいりました。引き続き西多摩各地の公共事業をしっかりと推進してまいります。

今夏の参議院議員選挙では、皆さまのお力添えにより、私たち自民党は東京都で2議席を獲得することができました。来年は統一地方選挙なども行われます。防災・減災、国土強靱化の重要性等もしっかりと掲げ、正々堂々と政策を訴えてまいります。来年も、どうぞよろしくお願ひします。

令和4年を振り返って

東京都議会議員 田村 利光

『変えられるものを変える勇気を、変えられないものを受け入れる謙虚さを、そして、その二つを見分ける英知を与えたまえ。』アメリカの神学者ライン・ホルド・ニーバーの言葉です。

長引くコロナ禍で、我々の生活も変化を余儀なくされています。テレワークの推進や、こまめな検温やアルコール消毒など、生活様式変更を変えていく。一方で、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の変化など、今ま

での我々の常識では考えられない事実を受け入れながら、しかし、反対の意思はしっかりと示していくことが必要な時代となっております。

また、世界情勢の変化による、建築資材を始めとする物価高騰や、いよいよ始まる建設業での働き方改革にも対応していかなければなりません。物価上昇にはスライド方式などで、働き方改革には週休2日モデル工事や書類の削減、遠隔現場の推進など、東京都も対策を打ち出していますが、現場の変化のスピードにはついていけない、というのが実感です。

私も、今年の本会議、委員会での質問でも様々建設業界にかかわるテーマを取り上げてきましたが、来年に向けては皆様に実感していただける成果に結び付けたいと思っています。

『変えられるもの』『変えられないもの』そして、『変えてはいけないもの』もあると思います。それは、皆様が、地元の安全安心のために取り組んでいただいている思いです。その思いを無にしないためにも、東京都がしっかりとバックアップをしてまいります。引き続き、都議会自民党へのご支援ご指導お願ひして、挨拶とさせていただきます。

令和4年を振り返って

東京都議会議員 森村 隆行

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年、私自身の政治活動に大きな変化があった年になりました。去る一月五日、都民ファーストの会の全議員支部長総会の場において代表に選任され、新たな役員陣を選任し、党運営にあたることになりましたこと、この場をお借りしてご報告させていただきます。

都民ファーストの会はご存知の通り、小池知事と緊密に連携しながら、日本の首都東京をいかに輝かせていけるかを追求する地域政党です。平成の三十年間を通じて、我が国の国際的な競争力は次第に低下し、いまや一人当たりGDPは台湾に、そして来年は韓国に抜かれようとしています。このような状況にあっても、東京は依然として世界の都市ランキングで上位3位に入る競争力を保持しており、今後

も我が国の社会、経済、文化を牽引していくエンジンとして機能することが求められています。そのためにも、都政を通じて、「未来への投資」「人への投資」を適確に行いつつ、道路や上下水道など老朽化する都市インフラの更新や、三十年以内に七十%の確率で発生することが予想される首都直下地震や激甚化する風水害への備えを進め、災害に強い街作りを推進していく必要があります。西多摩地域の街作りにおいては、貴協会の皆様のお力をお借りしながら、災害へのレジリエンスの高い街作りを進めていきたいと存じますので、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、今年、新型コロナウイルス、オミクロン株対応と、ロシアによるウクライナへの軍事進攻に端を発した物価高騰に対応し続けた一年となりました。都議会の定例会ごとに具体的な施策とそれに必要な補正予算を求め、困難に直面する都民や事業者の救済や支援、医療提供体制の拡充にあたってきました。引き続き、皆様の声をしっかりと都政に届けつつ、適切な施策を実現して参りますので、今後とも宜しくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

令和五年に向けて振り返る

東京都議会議員 清水やすこ

令和四年も押し迫ってまいりました。ロシアのウクライナ侵攻あるいは急速な円安による物価高騰、終わりの見えないコロナ禍、慢性的な人材不足と建設業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。この場をお借りしましてまずはお見舞い申し上げます。

そのような厳しい環境下にあっても西多摩建設業協会の皆様におかれましては地元のため、地域のために精力的に活動されており、感謝申し上げます。私が西多摩で仕事をしようになつて五年が経過します。この間、台風などの自然災害にも見舞われ、道路の寸断なども経験してまいりました。私自身もコロナにかかり苦しい時も、皆様の存在はとても心強いものでした。

また、西建協だよりには普段の視察や研修・講演など皆様の精力的な活動が掲載されており、若い方々のスキルアップなど人材育成にも力を入れる皆様の活動に心を打たれました。貴会の今後の活躍に期待申し上げます。さて、私はこの一年、女性の技術者が増えている

建災防西多摩分会 年末臨時パトロール報告

建災防西多摩分会は、日ごろより、西多摩管内の作業現場での無事故無災害を目指し活動しております。今回、青梅労働基準監督署のご協力を頂き、現場パトロールを実施いたしました。

令和4年度



年末・年始 Safe Work 推進強調期間

年末年始における死亡災害の撲滅を目指し、建設現場に対して集中パトロールを実施します！

期間 令和4年11月21日(月)～令和5年1月31日(火)

死亡災害では、依然として建設業が最多(本年10月末現在21人、前年同期比で2人増)であることから、集中的な建設現場の指導を実施します。

安全衛生管理活動の「4K」
決意表明、高所対策、管理活性化、教育強化の徹底をお願いします！

本パトロール趣旨：

東京労働局では、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、令和4年11月21日から令和5年1月31日までを「令和4年度 年末・年始 Safe Work 推進強調期間」と設定し、都内各事業場の安全衛生機運の向上に向けた取組の一層の推進を図ることとしました。

青梅労働基準監督署管内における令和4年労働災害発生状況は、11月17日時点で死亡者数3人(前年同期比+2人)、10月末時点での休業4日以上死傷者数466人(前年同期比+166人)となっており、大変憂慮すべき状況となっています。

そのため、「令和4年度 年末・年始 Safe Work 推進強調期間」における取組の一環として、当署管内の建設現場に青梅労働基準監督署及び建設業労働災害防止協会西多摩分会が連携し、署長・分会長パトロールを実施しました。

という現実を踏まえ、女性技術者が働きやすい環境づくりに努めてまいりました。これからも若い方々にずっと勤める職場として西多摩を選んでもらえるような、定着する労働環境づくりに励みんで参ります。また、公共事業においてグレードの高い快適なトイレなどを工事の諸経費として認めておりますが、女性目線、特に若い女性の声をきめ細やかに聞き、公共事業のあるべき姿を都政に反映させてまいります。

建設業界におけるDXの流れ、デジタル化、ハンコレス、FAXレス、キャッシュレスなどにも取り組んでまいります。

今後、最も懸念されるのは、令和6年4月から施行される「働き方改革」です。建設業界が新しい流れにスムーズに移行し、引き続き発展できるよう尽力します。

各市町村で大規模な工事が進んでいきます。私自身が皆様と歩調を合わせ、朝にゆなな地元を歩き、この目で見て皆様の声を都政に反映させてまいります。

パトロール現場について：

施工業者：清水建設 株式会社
 工事件名：青梅市立総合病院新病院新築工事
 工事場所：青梅市東青梅4丁目16番地の5
 工期：令和3年1月12日～令和5年7月31日
 進捗率：50.2% (11月末現在)

現場では、安全衛生管理について、安全衛生管理計画の作成、協議組織の運営、現場所長及び店社パトロールの実施と事後措置、安全日誌の作成、新規入場者教育の実施、足場の組立て時・使用開始前点検及び記録、持ち込み機械の点検の実施及び記録、関係請負人への指導等が行われていました。

また、休憩所等において新型コロナウイルス感染症防止に対する基本的対策の徹底を図っていました。

建設現場においては、作業状況は都度、変化するため、災害リスクも刻一刻と変化します。会員の皆様におかれましても、この災害リスクに対して、常に問題意識を持って、引き続き、元請作業員と下請作業員が協力して安全衛生に対する取組を創意工夫の上、図っていただけることを期待しています。



建屋外パトロールの様子



工事内容、状況の説明



屋外資材の保管状況



屋外パトロールの様子

◇あ と が き◇

暖かった11月が過ぎ、早いのももう師走。寒さの厳しい季節となりました。やはり病も増加減少を繰り返し、平穏な日常に戻るにはまだまだ時間が掛かりそうです。さて、西多摩地区青梅市において新春の風物詩『青梅だるま市』が今年も2023年1月12日に開催されます。縁起物である「だるま」は製作者により様々な表情を見せ、出店の中には青梅市で制作された「だるま」もあります。自分好みの「だるま」を探してみるのがいいでしょうか？

広報委員会



日建学院 青梅認定校

合格のための受験対策講座

2023年度 開講講座のご案内

1級土木 施工管理技士

一次 3月中旬～ 毎週火・木(夜間) ¥280,000(税込 ¥308,000)

二次 7月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥110,000(税込 ¥121,000)

1級建築 施工管理技士

一次 2月中旬～ 毎週火・木(夜間) ¥280,000(税込 ¥308,000)

2級土木 施工管理技士

2022年度 前期一次検定 青梅校合格率 100%

前期一次 3月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥190,000(税込 ¥209,000)

後期一次・二次 6月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥250,000(税込 ¥275,000)

2級建築 施工管理技士

2022年度 前期一次検定 青梅校合格率 100%

前期一次 3月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥140,000(税込 ¥154,000)

後期一次・二次 8月中旬～ 毎週月・水(夜間) ¥200,000(税込 ¥220,000)

給水装置 工事主任技術者

8月上旬開講 毎週火・木(夜間) ¥220,000(税込 ¥242,000)

宅地建物 取引士

4月中旬開講 毎週水(昼間) ¥280,000(税込 ¥308,000)

2023年も受験対策は日建学院に おまかせください！

詳細は随時ご説明いたします。お気軽にお問い合わせください。

青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
 日建学院 立川校 090-4171-6169 高橋かおり